









特別分科会



多面的な展開探る

IEをどう日常的な活動にわっていく様子を説明。位置付け、教員個人から新聞を通じた園児の成長全校に広げるために校内が、教員にも新鮮だった組織をどうつくるかを話し合った。

富士見が丘幼稚園(大分市)の今永真由美副主任は、園児が年少、年中、長と成長するにつれ、新聞が遊ぶ対象としての新によりNIEの定着促進やパターン化、NIEタイムの創設などについて報告した。

臼杵市教委の安東憲雄指導主事が司会者を務め、幼稚園、小学校、中学校で「新聞紙」から読んだり見たりする「新聞」に変

成長見守り日常的に

て報告。校内の組織づくりを時系列で解説した。第一中学校(津久見市)の永松芳恵主幹教諭は、前任校の北中学校(臼杵市)での取り組みを報告。

NIEのカリキュラム化



NIEの校内組織づくりなどについて発表する登壇者＝大分銀行宗麟館

今永真由美副主任



永松芳恵主幹教諭



平山立哉教諭



安東憲雄指導主事



特別分科会「主権者教育とNIE」会場の様子＝ホルトホール大分



主権者教育とNIE

今年は18歳選挙権元別分科会では、公民の導入後、初めての国政選挙となる参院選(7月)に合わせ、教育現場では生徒らの市民意識を高めようと試行錯誤が続いた。「主権者教育とNIE」をテーマにした特

市民意識育む役割を

作成し、本物に近い形で模擬投票に取り組んだ。「ノウハウを教えることを優先すると投票率は上がらない。投票に行くまでのプロセスを考えることが重要。一方で新聞を使う場合は政治的中立が課題」とした。

滋賀県立彦根東高校で新聞部の顧問を務める藤村知行教諭は「やりたいことはなんでもやる」をモットーに、年に1500号の速報新聞を発行している同部の活動を紹介。校内のことだけでなく、社会的な問題も掲載してきた。生徒にとっては学

賀来宏基教諭



首藤康編集委員



藤村知行教諭



田中孝宏校長



甲斐崇研究主事



梶原敏統括コーディネーター



清水みさ指導主事



佐田香織指導主事



学校図書館とNIE

授業に新聞を活用してだけでなく、考えをまとめる現場の教諭と司書らで書くことも苦にしながら出席。図書館の活用方法になったという。「学力や、教諭と司書の連携な調査でも記述問題に無回答の児童がいなくなっ

もらっている。授業でワークシートを児童のレ事を活用するうちに、生徒にのびのびと作っている。生徒の読解力を高と自主的に図書館を訪れるようになった。長松教諭は「図書館は情報が集まる場所だと気付いたようだ」と話した。

同市三保小学校の北崎佳百学校司書は、市内の学校司書23人の業務を説明。授業見学をして児童の声をアイディアを収集したり、記事にクイズや漫画での解説を付けた「ワ

松本俊也教諭



長松涼子教諭



北崎佳百学校司書

志賀祐子主幹司書



田辺玲子指導主事

行政との連携で進めるNIE



登壇者の発表に耳を傾ける参加者＝ホルトホール大分

全校での試みが大切

教育行政の立場からNIEを推進する3人が、児童生徒や現場の教諭に新聞の魅力を知らせてもらい、児童や教諭向けの出前講座に力を入れているという。教諭向け研修は、新望した数の新聞を配送して試みることが大切だ。

となるベテラン教諭を対象に実施。NIEへの興味を有無にかかわらず全員参加で、関心を持つきっかけづくりをする。例えば、切り抜き新聞を教えることで「子どもに表

清水みさ指導主事

みさ指導主事は、児童生徒に新聞に親しんでもらうと区教委の「新聞大好きプロジェクト」を紹介。区立小中学校には希

部、佐田香織指導主事が任教諭と勤務年数が節目